

平成28年

新町通り

被災建物を順次解体・撤去中。町道の災害復旧、津波被災地の道路改良のため順次災害査定中。



中心市街地

平成23年



平成23年8月17日撮影

浪江町地域スポーツセンター

平成23年の夏に供用開始する予定だった「浪江町地域スポーツセンター」。完成間近だった建物は、震度6強の揺れでもほとんど被害を受けていません。帰町に向けて設備の修復を進め、町民が集う公共施設として使用できるよう整備中（平成28年3月完成予定）。



平成23年5月27日撮影

国道114号（権現堂地区）

県事業で平成20年度から、権現堂地区内の700m区間の改良工事を進めてきた、国道114号浪江拡幅1工区の工事が平成27年8月に完了。連続する2工区（460m）も事業に着手しており、一日も早い完了を目指している。



平成27年3月1日撮影

平成27年8月撮影

震災から5年

浪江町長
馬場

有

あの震災、原発事故から5年の月日が経とうとしています。地震・津波で尊い命を奪われた皆さん、長期にわたる避難生活の中で命を落とされた皆さんに、あらためて、心から哀悼の誠を捧げる次第です。

この5年間、私は不撓不屈の精神で町を再生すると決め、大きな課題にも決して諦めない気持ちで挑んでまいりました。それが、町の将来を背負う私の責務だと考えております。

町内はこの5年で、津波被災地の災害がれきが撤去され、請戸漁港付近では防波堤の復旧工事が進んでいます。また、国道114号の拡幅1工区の工事が完了し、帰還に向けて上下水道の復旧も進んでいます。しかし一方では、除染は計画の5割も終わっていないという現状もあります。町の復興計画では、平成28年度は「復旧実現期」の最終年度です。さらにスピード感を持ってインフラ整備を終え、次の本格復興期へ移行したいと考えています。

町は平成29年3月の帰町を目標としています。この1年間は、その目標に向けて、医療・介護、商業施設、学校など、生活基盤の整備を進め、まちの再生・新生のため、役場職員一丸となって全力で取り組んでまいります。

町に帰る人、帰らない人、悩んでいる人、誰にとっても浪江町は大切な故郷です。町は、町民の皆さんそれぞれの思いや考えを尊重し、一人ひとりの生活再建・支援に努めてまいります。

終わりに、ご支援をいただきました全国の皆様へ心より御礼申し上げます。

写真で見る まちは今

震災から5年、まちの状況を
当時の写真と共にお伝えします。

*平成28年の写真は全て2月2日撮影

平成28年

平成23年

浪江町民第二体育館

「浪江診療所(仮称)」建設工事中（平成29年3月完成予定）。現在、体育館の解体作業が進む。



役場本庁舎西側



平成23年8月17日撮影

平成28年

平成23年



平成23年7月26日撮影



平成23年7月26日撮影



平成23年7月26日撮影

左奥：マリンパークなみえ



津波被災地区では、防波堤・導流堤等、沿岸周辺の復旧工事が進む。

平成28年

平成23年

幾世橋、棚塩地区



奥：棚塩、請戸方面

平成23年9月17日撮影



右奥：マリンパークなみえ
左：仮設焼却施設（棚塩地区）

平成23年7月26日撮影

平成27年7月から本格稼働している仮設焼却施設の災害廃棄物等の処理は、平成28年度末までに完了予定（300トン/日）。

請戸地区

災害がれきが撤去され、電柱を新たに整備。平成27年3月に被災船舶の解体・撤去作業は全て完了。被災車両（約1,000台）は順次撤去中。



奥：請戸海岸方面

平成23年5月27日撮影

震災から5年

平成27年2月～平成28年2月の歩み

平成27年

- 2月 国道288号～県道35号（いずれも大熊町内）の通行規制が緩和
- 3月 浪江町営大平山霊園が完成（請戸地区）
被災船舶の解体・撤去作業が全て完了
常磐富岡～浪江インターチェンジ間の開通により、常磐自動車道が全線開通
国道114号の浪江IC以東、国道6号までの通行自由化
浪江町東日本大震災追悼式を開催（総合葬祭ほうりん 二本松市）
なみえ3.11復興のつどいを開催（二本松市安達文化ホール）
- 4月 復興祈念公園の候補地が浪江町と双葉町にまたがる地域に決定 《県の事業》
- 5月 浪江町交流・情報発信拠点施設を整備する委託業者が決定（国道6号線沿線）
浪江町防災会議開催、防災計画の見直しがスタート
- 6月 浪江町海岸災害復旧工事の安全祈願祭・着工式（棚塩地区） 《県の事業》
- 7月 浪江産のリンドウを東京大田市場に初出荷（NPO法人Jinが幾世橋地区のほ場で栽培）
災害廃棄物の仮設焼却施設が本格稼働開始（棚塩地区） 《国の事業》
浪江町花卉研究会設立
- 8月 国道114号浪江拡幅1工区の工事完了（権現堂地内） 《県の事業》
- 9月 震災記録の保存方法の一つとして3D測量を開始（津波被災地区）
平成27年度浪江町住民意向調査を実施
避難指示解除に関する有識者検証委員会開催、避難指示解除に向けた検証を開始
- 10月 「ふたば復興生コン」稼働開始、町内で初めての生コンクリート工場（高瀬地区）
- 11月 浪江産の米を震災後初めて販売（全量全袋検査実施、安全性確認済み）

平成28年

- 2月 県道49号（原浪トンネル）・50号（葛尾村との境）の通行規制が緩和

なみえ3.11復興のつどい

と き 平成28年3月12日(土) 午前10時開会
と ころ 二本松市 安達文化ホール 他

震災で故郷を離れて、早くも5年を過ぎようとしています。皆さんはいかがお過ごしでしょうか。仮設住宅や借上げ住宅などの避難生活でご苦労されていることと思います。

今年も「復興のつどい」を各自治会の皆さんの協力のもと企画させていただきました。懐かしい浪江の皆さんにお会いするのを楽しみに、お誘い合わせのうえ、ぜひお越しください。お待ちしております。

実行委員長 熊川 勝

(二本松・塩沢農村広場仮設住宅自治会長)

☎ なみえ3.11復興のつどい実行委員会事務局
☎ 0243(62)0305

津島活性化センター付近（国道114号沿い）2月2日撮影